

# 様式 1 演習

2018年度 DPC研究班 北九州セミナー  
産業医科大学 公衆衛生学教室 村松圭司

# 本日の内容

- 平成30年度様式 1 の変更点について
- 縦持ち様式 1 の横持ち化ツールの使用方法について
- 演習

# 平成26年の様式 1 変更点

- データ記録方式の変更
  - ヘッダ／ペイロード方式
    - ヘッダ部分に含まれるコードごとに、ペイロード部分の意味が変わる方式
  - 変更理由
    - 改定時の調査項目変更への対応の柔軟性
    - 目視性の良さ
    - データ処理速度

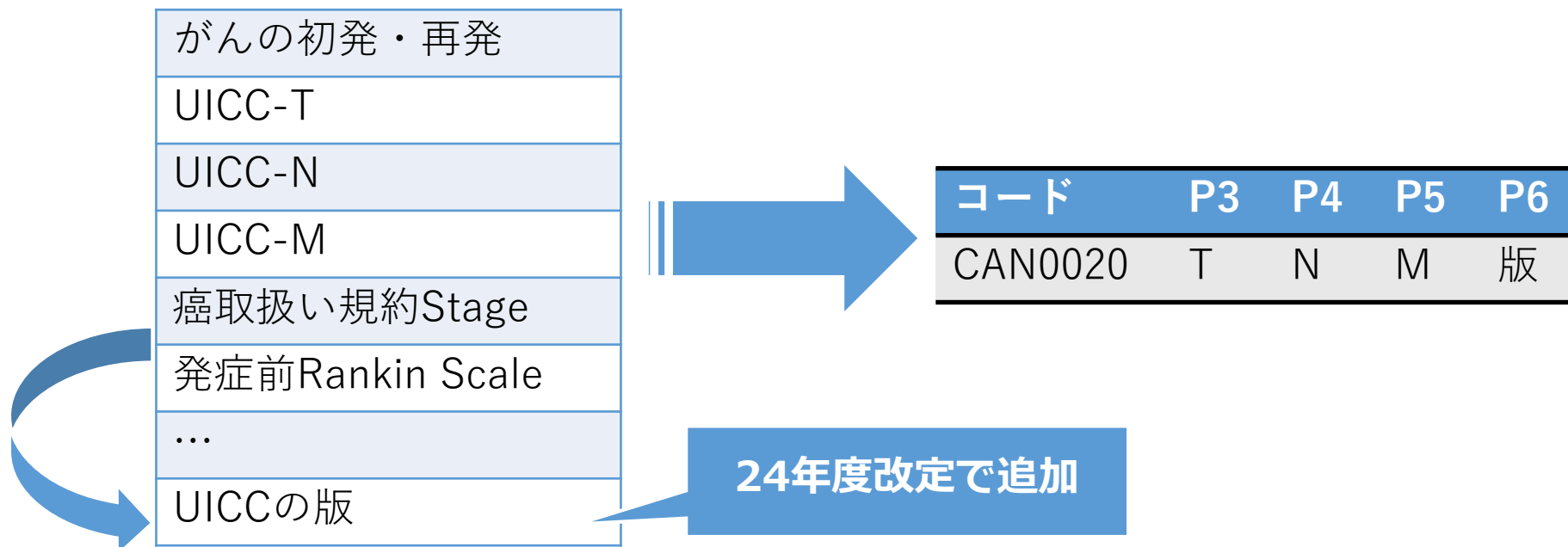
※平成26年度「D P C 導入の影響評価に係る調査」実施説明資料  
(平成26年5月1日)

# 平成26年度以降の様式 1 について

施設コード	データ識別番号	入院年月日	診療 回数 管理 番号	コード	バージョン	通番	ペイロード1	ペイロード2	ペイロード3	ペイロード4	ペイロード5	ペイロード6	ペイロード7	ペイロード8	ペイロード9
				患者属性											
409999999	0000000002	20140402	0 0	A000010	20140401	0	20110421	2	8030263						
				入院情報											
409999999	0000000002	20140402	0 0	A000020	20140401	0	20140402	1	1		1	310	0	0	

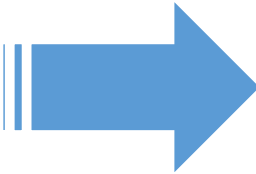
# 「縦持ち」様式1のメリット

- 調査項目の変更・追加が容易



# 「縦持ち」様式1のメリット

- 複数入力項目の分析をしやすい

入院時併存病名 1		通番	コード	P2	P9
ICD10コード		1	A006040	ICD10	入院時併存病名
入院時併存病名 2		2	A006040	ICD10	入院時併存病名
ICD10コード		3	A006040	ICD10	入院時併存病名
入院時併存病名 3					
ICD10コード					
...					

# 「縦持ち」様式 1 のメリット

- 可読性が高い
  - 横持ち方式では疾患によっては空きフィールドばかりになる

・	489999999	010 20140401 1 20140401	0 20140421 2 20140421	0000000001 0 0 肺炎，病原体不詳 本患性（原発性<一次性>）高血圧（症）	1 1 999999999 J189	19600021 0 999999999 肺炎，病原体不詳 I10	8000215 0 1 J189	4 101 0 肺炎，病原体不詳 インスリン非依存性糖尿病<N I D	0 0 0 J189
	DM>	合併症を伴わないもの		E119					
	0	0 2312132222	2312132222	1		180	80.00	600	0 0000005

409999999	0000000001	20140401	0	0	A000010	20140401	0	19600821	1	8000215									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000020	20140401	0	20140401	1	0	0	101	0	0					
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000030	20140401	0	20140421	1	2	0	0							
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000031	20140401	0	20140401		20140421									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000040	20140401	0		010	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000050	20140401	0		1	0	0								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000060	20140401	0		4	0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A000070	20140401	0	999999999		999999999									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A001010	20140401	0			100	00								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A001020	20140401	0			600									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A001030	20140401	0			0	0								
409999999	0000000001	20140401	0	0	A002010	20140401	0			0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A004010	20140401	0			0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006010	20140401	0			J189									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006020	20140401	0			J189									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006030	20140401	0			J189									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006040	20140401	1			I10									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A006040	20140401	2			E119									
409999999	0000000001	20140401	0	0	A008010	20140401	0			0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	ADL0010	20140401	0			2312132222									
409999999	0000000001	20140401	0	0	ADL0020	20140401	0			2312132222									
409999999	0000000001	20140401	0	0	JCS0010	20140401	0			0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	JCS0020	20140401	0			0									
409999999	0000000001	20140401	0	0	M040010	20140401	0			1									
409999999	0000000001	20140401	0	0	M040020	20140401	0			00000005									

# 平成26年の様式 1 変更点

- 新規コードの追加
  - 入院前の在宅医療の有無
  - 退院後の在宅医療の有無
  - 入院時の褥瘡の有無
  - 退院時の褥瘡の有無
  - 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準
  - 持参薬の使用の有無
  - 抗リウマチ分子標的薬の初回導入治療の有無



# 平成28年の様式 1 変更点

- 新規コードの追加
  - バージョンには「20160401」を入力
    - A006060 診断情報/難病
    - FIM0010 FIM
    - M050040 心不全患者/血行動態的特徴
- 記録内容の変更
  - 既存コードの追加・変更（値の変更のみは省略）
    - A000020 入院情報;自傷行為・自殺企図の有無を追加
    - A001030 患者プロフィール/褥瘡; 入棟日・退棟日を追加、ペイロード変更
    - A006010 –A006050 傷病名系すべて;傷病名コード・修飾語コードの追加
    - M040020 肺炎患者/重症度;医療介護関連肺炎に該当の有無を追加

# 平成30年の様式 1 変更点

- 新規コードの追加
  - バージョンには「20180401」を入力
    - A004020 要介護度
    - A004030 要介護情報
    - M180010 SOFA スコア/特定集中治療室
    - M180011 SOFA スコア/敗血症
    - M180020 pSOFA スコア/特定集中治療室
    - M180021 pSOFA スコア/敗血症
- 記録内容の変更
  - 既存コードの追加・変更（値の変更のみは省略）
    - A007010 手術情報；手術基幹コードを追加
    - FIM0010 FIM；入棟時体重及び退棟時体重を追加
    - M050040 心不全患者/血行学的特徴；心不全の発症時期、心拍数、心調律を削除

# 現場からの意見

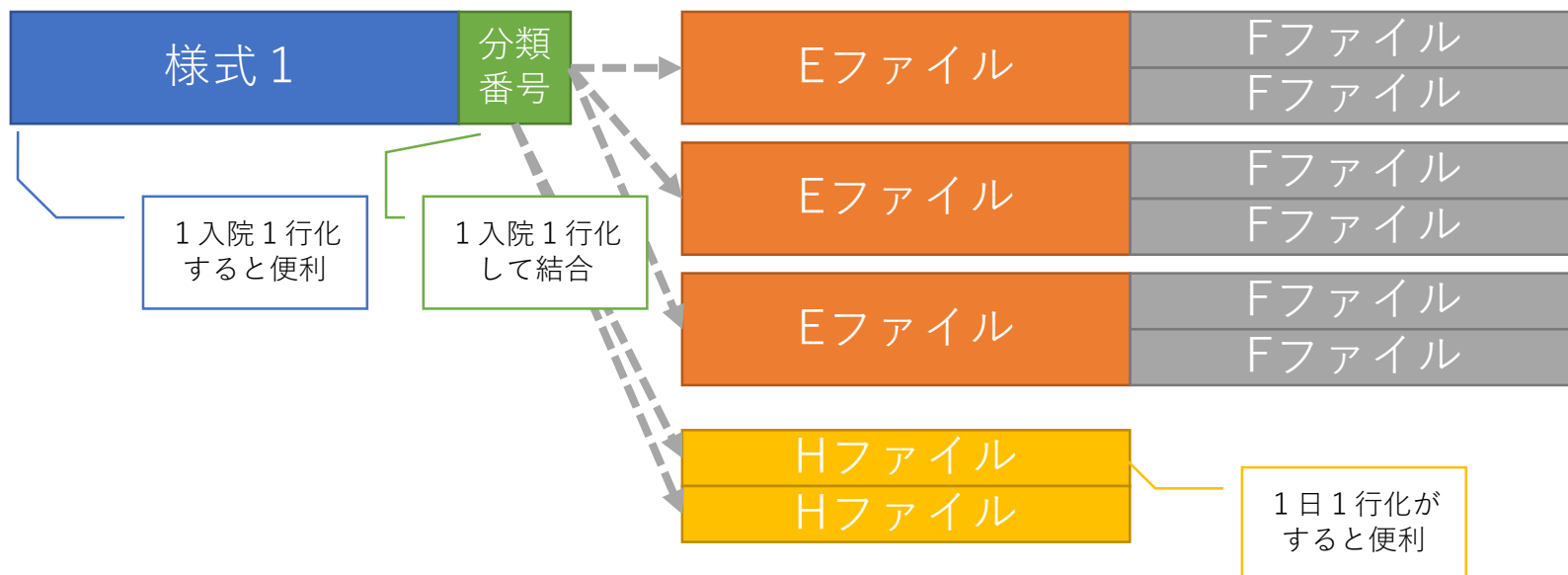
- これまでの分析手法で引き続き分析したい！
- 新旧様式 1 の期間をまたいだ分析は？
- 分析手法に正解はありません
  - 自分で理解でき、相手に説明できる手法が最良
    - 今回は、縦持ち様式 1 を横持ち化して分析する方法を紹介

# 各データの関係

Dファイル		様式 1		Eファイル		Fファイル
施設コード	↔	施設コード	↔	施設コード	↔	施設コード
データ識別番号	↔	データ識別番号	↔	データ識別番号	↔	データ識別番号
退院年月日		退院年月日		退院年月日		退院年月日
入院年月日	↔	入院年月日	↔	入院年月日	↔	入院年月日
データ区分番号		患者属性		データ区分番号	↔	データ区分番号
順序番号		入院情報		順序番号	↔	順序番号
行為点数		診断情報		行為点数		レセプト電算コード
分類番号		手術情報		行為薬剤料		行為明細点数
医療機関係数		診療情報		行為材料料		行為明細薬剤料
				行為回数		行為明細材料料
				実施年月日		

# 理想のかたち

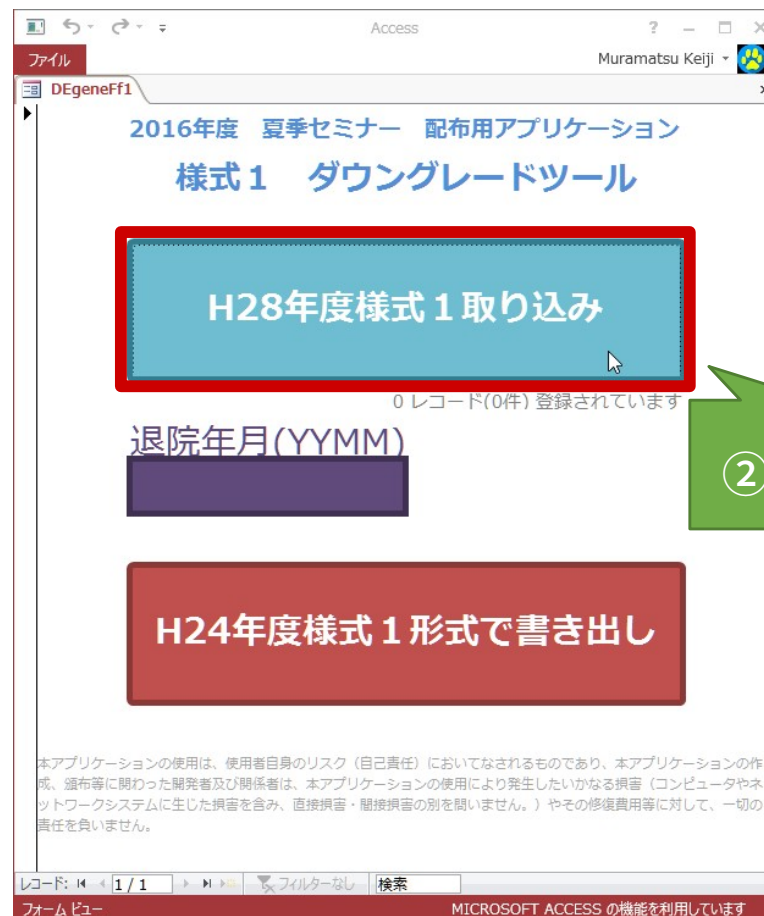
- 様式 1 は一人 1 行
- Dファイルは診断群分類番号だけ取ってきたい
- EFファイルはくっついていると良い ← 統合ファイルでOK
- Hファイルは様式 1 ⇔ Eファイルと同じ関係



# 様式 1 「退化」 ツール

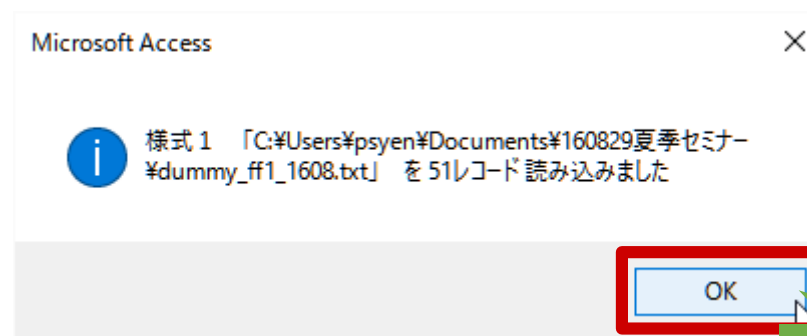
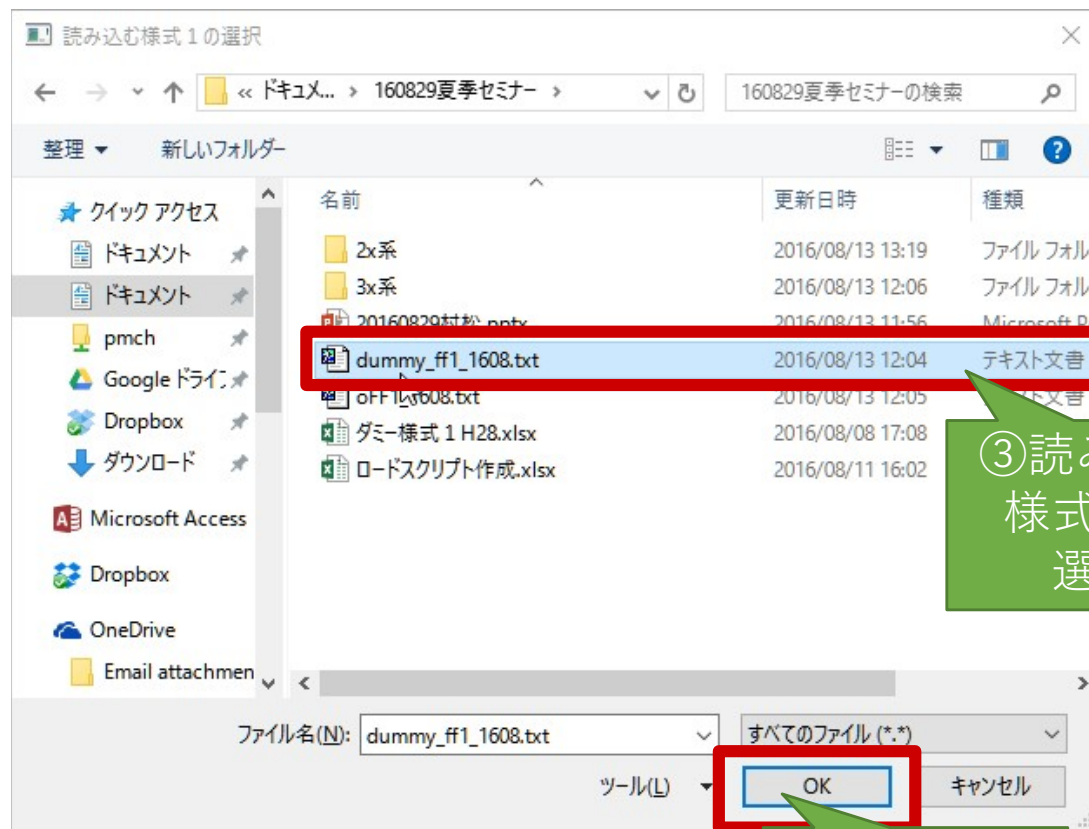
- 縦持ち様式 1（エラーチェック前）を横持ち化します
- <https://sites.google.com/site/pmchuoeh/files/dpcfiles>から入手可能
- Access2007以降もしくは[Access Runtime（無料）](#)で使用可能
  - 2x系
    - FF1degene\_v2\_H30.accdr
    - H26/H28 /H30に追加された項目は削除
    - H24様式 1 と同様に取り扱い可能なフォーマット
  - 3x系
    - FF1degene\_v3\_H30.accdr
    - H26/H28 /H30に追加された項目はH24の項目の後ろに格納（一部）
    - 傷病名コード・修飾語コードは削除
      - Accessのフィールド数制限のため、全てのフィールドを横持ちにするのは不可能

# 様式 1 「退化」 ツール 使用方法



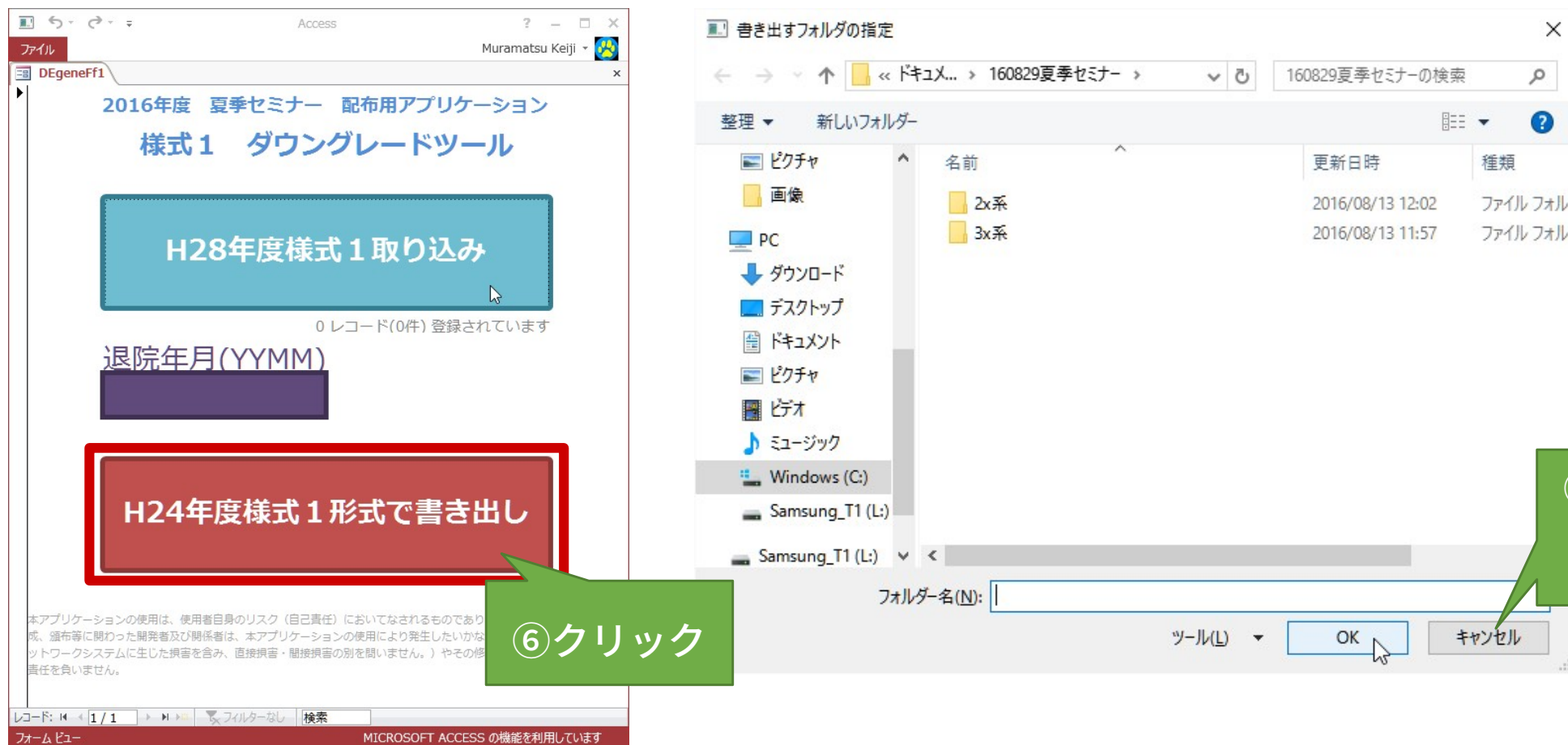
H28年改定版2x系を用いて使用方法を解説しています。平成30年改定版も使用方法は同じです。  
また、3x系も使用方法は同じです。

# 様式 1 「退化」 ツール 使用方法





# 様式 1 「退化」 ツール 使用方法



The image shows two overlapping windows. The background window is a Microsoft Access application titled 'Access' with a user 'Muramatsu Keiji'. It displays a form for '2016年度 夏季セミナー 配布用アプリケーション 様式 1 ダウングレードツール'. The form has a blue button labeled 'H28年度様式 1 取り込み', a text field for '退院年月 (YYMM)', and a red button labeled 'H24年度様式 1 形式で書き出し'. A green callout bubble with the text '⑥クリック' points to the red button. The foreground window is a '書き出すフォルダの指定' (Specify folder to export to) dialog box. It shows a file explorer view of the '160829夏季セミナー' folder, containing subfolders '2x系' and '3x系'. A green callout bubble with the text '⑦書き出すフォルダを選択' points to the '2x系' folder. The dialog box has a search bar, a list of folders, and buttons for 'OK' and 'キャンセル'.

# 様式 1 「退化」 ツール 変換後仕様

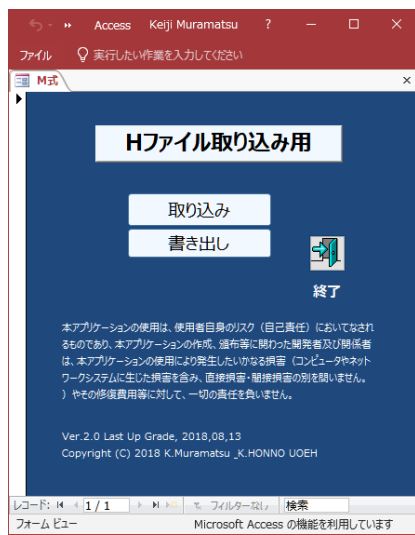
- それぞれ以下のファイルにテーブルレイアウトを記載
  - 2x系
    - oFF1\_v2.xlsx
  - 3x系
    - oFF1\_v3\_H30.xlsx

# 演習 1

- H30年度様式 1 （ダミーファイル）を変換してみましょう。
  - アプリの使い方
    - 起動（警告画面が出る場合あり）
    - 変換したい様式 1 ファイルの選択
    - 変換したファイルの出力先を選択
    - ファイルの確認
  - ダミーデータ
    - dummy\_ff1\_H30.txt

# Hファイル変換ツール

- Hファイルを横持ち化します
- <https://sites.google.com/site/pmchuoeh/files/dpcfiles>から入手可能
- Access2007以降もしくは[Access Runtime（無料）](#)で使用可能
- 1 入院エピソード・1 日で1 行となるように変換
  - 産業医科大学病院医療情報部 本野先生作成のツール
  - 得点の計算や重症者の判定まで自動で行える（一般病床のみ）



# 演習 2

- H30年度Hファイル（ダミーファイル）を変換してみましょう。
  - アプリの使い方
    - 起動（警告画面が出る場合あり）
    - 変換したいHファイルの選択
    - 変換したファイルの出力先を選択
    - ファイルの確認
  - ダミーデータ
    - dummy\_h\_H30.txt

# 参考資料

- 当教室のウェブサイト
  - <https://sites.google.com/site/pmchuoeh/files/dpcfiles>
  - 今回紹介したツールもこちらで配布します
- YouTube
  - <https://www.youtube.com/user/pmchuoeh/>
  - 本演習の動画も公開します（予定）